

3/15

日南町の観光の強化を目指して



「にちなんエコツーリズム推進協議会」の設立総会がアメダス茶屋で行われました。エコツーリズムとは、

地域の自然などを観光資源として生かしつつ、これらの保護・保全を行うことです。設立メンバーは、多里はんだけを守る会（面田洋一会長）、福栄サクラソウを守る会（榎木建明会長）など6つの関係団体や、日南町観光協会（中村英明会長）など約30人で、会長には山上ホテル保護の会前会長の近藤仁志さん（笠木）が選ばれました。近藤会長は「皆さんと半歩ずつ前に進めていきたい。」と抱負を述べられました。

3/19

2つの団体が表彰されました



「日本海新聞ふるさと大賞2018」日南の部の表彰式が役場交流ホールで行われました。

今年の地域貢献賞は、平成元年より川の清掃活動や環境美化などに取り組み、「日野川源流かっぱまつり」や「大西満杯争奪鮎友釣り大会」を開催してきた「日南の水を守る会」（水谷秀樹会長）が受賞しました。

また、スポーツ功労賞は「日南オールスターズ」が受賞。選手不足のため日野郡の合同チーム「日野ユナテッドスターズ」として活動するなかで、上位大会に進出し県内外で活躍したことが評価されました。

3/31

俳句に親しむ

「夏井いつき句会ライブ」がさつきホールで開催され、町内外から約350人が来場しました。ライブはテレビ番組でお馴染みの俳人夏井いつき先生が講演し、誰でも俳句が5分でできる方法を伝授。観客は示されたテーマに沿った俳句を作り、その場で夏井先生が選句し、先生の目に止まった俳句を紹介され、なかでも優秀な7句を選句し、観客と一緒に最優秀の一句を選びました。



観客は、夏井先生の観客を巻き込みながらの軽妙な語り口を楽しみながら、俳句に親しんだ様子でした。

3/14

意欲ある生産者を表彰

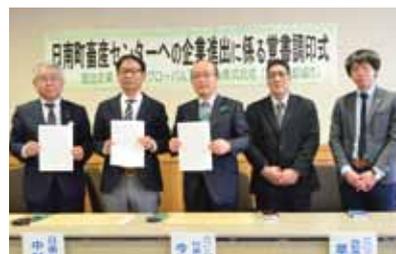
平成31年度出荷者協議会総会が町総合文化センター多目的ホールで行われました。総会では、白谷工房代表の中村建治さんの講演や指定管理を受けている㈱サクセスの次年度以降の経営方針などについての話がありました。また、意欲的に販売に取り組み、優秀な実績を収めた方の表彰が行われました。



- (生鮮野菜部門) 佐藤 和美さん (宝谷)
- 丸山 富壽子さん (下阿毘縁)
- (食品加工部門) 米風土鳥取 (生山)
- 矢吹 豊さん (萩原)
- (手工芸部門) 樹乃下文具 (霞)
- 和田 隆男さん (下石見)

3/18

町畜産センターに企業進出



「日南町畜産センターへの企業進出に係る覚書調印式」が役場第2会議室で行われました。調印式には、企業進出する「みらいグローバル

ファーム㈱」（宮崎県都城市）の今福保留代表取締役、大塚博幸鳥取西部農業協同組合代表理事常務、中村英明町長ら関係者が出席しました。今後、母牛の飼育が行われ、月に10～12頭の育成牛が出荷される予定です。中村町長は「町の畜産業の活性化につながって欲しい。」と話しました。町の畜産振興と有機堆肥の供給が期待されます。

3/28

新しい地域のシンボルが完成

昨年7月から新築工事が行われていた「遊邑コミュニティプラザ福栄地域振興センター」が完成し、竣工式がセンターの妙見



ホールで行われました。式には、田邊克文福栄まちづくり協議会会長を始め地域住民や、工事関係者、鳥取県日野振興センターなど関係者約40人が参加しました。

田邊会長は「センターは完成したが、ここから活用していくことが重要。福栄の新たなシンボルになり、他の地域との交流の拠点にしたい。」と抱負を述べられました。

